

各治水対策案の概要

ケース	治水対策案	基本方針に対応するための課題等	自然環境への影響	その他	総事業費(億円)	移転家屋(戸)	用地補償(ha)
ケース1	サンルダム + 河川改修案	・サンルダムは基本方針に対応した規模(1/100)で設置するため中小洪水から、基本方針で想定している規模までの洪水に対し調節効果を発揮できる。	・河道掘削が最も少なく、河川環境への影響が最小限に抑えられる。 ・サクラマス等の遡上性魚類に対する配慮が必要。 ・新たに湖面が出現する。	・比較的短期間で施設が完成する。(効果の発現が早い) ・正常流量を確保できる。	1,200 (1,076) 既投資額除く	40 (うち、サンルダム建設に係る13戸すべて移転済み)	346 (うち、サンルダム建設に係る251ha用地買収済み)
ケース2	遊水地 (天塩川+名寄川) + 河川改修案	・遊水地は整備目標流量に対応した規模で設置するため、整備目標流量以上の洪水に対しては十分な調節効果を発揮できない。 ・基本方針で想定している規模の洪水に対しては、天塩川及び名寄川に設置する遊水地の改築工事(越流堤の改築・遊水地の拡大等)が必要。	・名寄川では河道掘削が多く、河川環境に与える影響が大きい。 ・遊水地となる智恵文沼(ヒブナの生息地)への配慮が必要。 ・サケの産卵床を保全できない。	・施設の完成までに時間を要する。(効果の発現が遅い) ・正常流量を確保できない。 ・遊水地となる農地の使用に制約があり、農業が主要産業がとなっている地域に与える経済的、社会的影響が大きい。	1,320	72	545
ケース3	遊水地 (名寄川) + 河川改修案	・遊水地は整備目標流量に対応した規模で設置するため、整備目標流量以上の洪水に対しては十分な調節効果を発揮できない。 ・基本方針で想定している規模の洪水に対しては、名寄川に設置する遊水地の改築工事(越流堤の改築・遊水池の拡大等)が必要。	・ケース1に次いで河道掘削が少なく、比較的河川環境への影響が抑えられる。	・施設の完成までに時間を要する。(効果の発現が遅い) ・正常流量を確保できない。 ・遊水地となる農地の使用に制約があり、農業が主要産業がとなっている地域に与える経済的、社会的影響が大きい。	1,580	197	1,059

遊水地案の用地は、地役権設定した用地面積を含む。